

25年度学校評価アンケートまとめ

京都市立北総合支援学校

学校評価アンケートについて、集計、及び分析結果について報告させていただきます。

この結果につきましては、職員会議で全教職員に周知するとともに、現在の北総合支援学校の教育活動や学校運営の課題を明らかにして組織的、計画的、継続的に改善していくこと、保護者・地域に信頼された「開かれた学校づくり」をすすめることをねらいとして実施しています。

アンケートの結果から課題として明らかになったことは、教職員間で共有し、家庭、地域と連携しながら解決に向けて取り組んでいきたいと思います。

1. 回答率について

各部と全保護者の回答率については、右の表の通りです。
ご協力ありがとうございました。

学部	回答率
小学部	80%
中学部	81%
高等部	81%
分教室	79%
合計	81%

2. 集計表の見方について

(1) 数値の計算方法について

重要度	実現度	点数
とても重要である	とても出来ている	7
やや重要である	ややできている	5
あまり重要でない	あまり出来ていない	3
重要でない	出来ていない	1
無答	わからない・無答	換算せず

全ての回答者の回答を平均した結果を表示しています。重要度が高い（6.7以上）項目は◎、実現度が低い（5未満）項目は◆がついています。

(2) ニーズ度の計算方法について

$$\text{重要度} \times (8 - \text{実現度})$$

※ニーズ度の最高ポイントは49

(例：とても重要な課題と考えているのに全く実現できていないという意見の場合、
重要度は7で実現度は1となり、 $7 \times (8 - 1) = 7 \times 7 = 49$ となります。)

※ニーズ度の最低ポイントは7

(例：とても重要な課題と考えていてその通りとても出来ているという意見の場合、
重要度は7で実現度も7となり、 $7 \times (8 - 7) = 7 \times 1 = 7$ となります。)

※ニーズ度が25ポイントを超える項目は、課題がある項目であると考えられます。今回のアンケートでは、25ポイントを超える項目はなかったですが、20ポイントを超える項目には網掛けをしています。

（例：重要度が7の項目で、実現度がおよそ4.42以下だとニーズ度が25ポイントを超えることになります。参考までに10人中7人が「やや出来ている」残り3人が「あまり出来ていない」と評価した場合は、実現度が4.4となり、ニーズ度が25ポイントを超えることになります。

$$7 \times \{8 - (7 \times 5 + 3 \times 3) \div 10\} = 7 \times (8 - 4.4) = 7 \times 3.6 = 25.2$$

3. 保護者アンケート結果について

	重要度	実現度	ニーズ度
目指す子ども像の趣旨に沿った適切な取組がなされていること	6.56	5.16	18.6
絵やサイン、言葉や文字等の記号コードを活用し、考え、表現する力を育てること	6.39	◆4.99	19.2
することがわかり、見通しを持ちながら行動する力を育てること	6.62	5.28	18
学校生生活の中で自己選択する機会を設定し、自己決定できる力を育成すること	6.42	◆4.88	20
健康や体力維持を基盤にADLの向上を図ること	6.37	5.22	17.8
周囲の人に対する挨拶や感謝の表現ができること	6.51	◆4.98	19.7
身だしなみに気をつけ、TPOに応じた服装ができること	6.01	◆4.86	18.9
時間や順番、約束を守ることや、他者への思いやりなど、生活上のルールを守って行動すること	6.62	5.11	19.1
進路に関する適切な指導が行われること	6.61	◆4.92	20.4
保健室と連携し、緊急時にも組織的に対応すること	6.69	5.79	14.8
学年だよりや学部だより、学校だよりやホームページなどで、学校から情報発信が行われること	6.26	5.63	14.8
個別の包括支援プランの作成について、担任と充分に話し合うこと	6.61	5.62	15.7
個別の包括支援プランが適切に作成されていること	6.66	5.74	15.1
個別の包括支援プランに基づいて日々の学習が進められていること	6.53	5.47	16.5
児童生徒が生き生きと活動していること	◎6.98	5.59	16.8
授業で活動しやすい環境作りがなされていること	◎6.89	5.2	19.3
性教育、保健指導、安全指導等必要なことに指導できていること	6.46	◆4.7	21.3
学習の評価がわかりやすいこと	6.38	5.39	16.7
教職員が子どものモデルとなる適切な言動をすること	6.49	5.4	16.9
学校の施設・設備が清潔・安全であること	◎6.92	5.47	17.5
学校預り金の取り扱いについて、保護者への説明や適切な執行が行われること	6.6	6	13.2

保護者アンケートの結果、突出した課題は見られませんが、「自己選択、自己決定できる力を育成すること」については、他よりニーズ度が高い結果になっています。授業を中心として、学校生活全体の中で、児童生徒や保護者のみなさんが実感できるような、取組を進めていく必要があると考えています。また、「進路に関する適切な指導」や「性教育、保健や安全等に必要な指導」に関する項目も比較的ニーズ度が高い結果になっています。学校として取組は進めていますが、これまで以上に取組を充実させていくとともに、保護者の方々にも取組がわかるように伝え方を工夫していく必要があると考えています。

4. 教職員アンケート結果について

	重要度	実現度□	ニーズ度
(全)めざす子ども像の趣旨に沿った適切な取組がなされていること	◎6.7	◆4.8	21.44
(教)三者の願いとそれに基づく「長期目標」を適切に設定すること	6.4	◆4.9	19.84
(教)「短期目標」を「現在の姿」に対応して、適切に設定すること	6.6	◆4.9	20.46
(教)個別の包括支援プランの作成の過程で保護者と話し合い、共通理解すること	6.5	5	19.5
(教)個別の包括支援プランをもとにユニットを構成・配列し、一人一人の児童生徒に必要な学習計画を立てること	6.3	◆4.9	19.53
(教)ケース会議等で評価し、個別の包括支援プランを適切に修正・更新すること	6.4	◆4.9	19.84
(教)実施した学習について、わかりやすい評価を保護者に提示すること	6.4	◆4.9	19.84
(教)絵やサイン、言葉や文字等の記号コードを活用し、考え、表現する力を育てること	6.5	◆4.7	21.45
(教)することがわかり、見通しを持ちながら行動する力を育てること	◎6.7	◆4.8	21.44
(教)学校生活の中で自己選択する機会を設定し、自己決定できる力を育成すること	6.6	◆4.5	23.1
(教)健康や体力維持を基盤にADLの向上を図ること	6.6	◆4.8	21.12
(全)周囲の人に挨拶や感謝の表現ができること	◎6.7	5	20.1
(全)身だしなみに気をつけ、TPOに応じた服装ができること	6.4	◆4.8	20.48
(全)時間や順番、約束を守ることや他者への思いやりなど、生活上のルールを守って行動すること	◎6.7	5	20.1
(全)事故等、緊急時に組織的な対応をすること	◎6.9	5	20.7
(全)児童生徒や保護者に関わる個人情報の管理に細心の注意をすること	◎6.8	5.6	16.32
(全)災害時の対応の仕方について共通理解をすること	◎6.8	5	20.4
(全)施設・設備の清潔・安全等が保たれること	◎6.8	5	20.4
(教)進路に関する情報を本人や保護者と共有し、適切な指導を行うこと	◎6.7	◆4.8	21.44
(教)学部間の連携や、諸担当者と担任・専任との連携を行うこと	◎6.7	◆4.4	24.12

教職員アンケートの項目にあります（全）は、全教職員のアンケートに結果によるもの、（教）は、教員のアンケートによるものです。

教職員アンケートの結果からも25ポイントを超える結果はありませんが、保護者の意見以上に日常の指導についてのニーズ度が高い傾向が見られます。北総合では、小・中・高等部の児童生徒の指導に指導部の教員があたっていますが、各学部の担任とともに、中高横断専任部の指導者がおり、また、支援部、総務部の教員もさまざまな形で指導にあたっているという現状があります。個別の包括支援プランに基づき、必要な連携を適宜行いながら子ども達の指導に日々あたっていますが、各部間の連携にはさらに時間をかける必要があることがうかがえます。京都市の支援学校の中でも多くの子どもが在籍し、また多様な子どもたちがいる現状がある中で、各担当同士の連携がとても重要となります。今後の学校運営の中でも更なる工夫が必要であるといえます。また、「自己選択、自己決定できる力を育成すること」については、保護者と同様に高いニーズ度を示しています。子ども達の活動を充実したものにし、保護者のみなさまの期待に応えられるよう、今後も取り組んでいきたいと思います。

	重要度	実現度□	ニーズ度
(教)教員・養護教諭・看護師の役割を明確にした安全で適切な医療的ケアが行われること	◎6.7	5.7	15.41
(教)関係機関、保護者、主治医を連携し、医療的ケア検討委員会を中心とするシステムが機能すること。	◎6.7	5.5	16.75
(教)日常的に保健室と連携し、発作や病気、けが等の緊急時にも組織的に対応すること	◎6.7	5.7	15.41
(全)総務部・指導部・支援部が円滑な学校運営と教育活動の実施に向けて連携すること	6.5	◆4.8	20.8
(全)職員会議・各種委員会、ケース会議・ユニット担当者会等、必要な会議を適切に行うこと	6.4	5.1	18.56
(全)災害時に備えて地域と連携した安全対策をすすめること	6.6	◆4.7	21.78
(全)地域と協力して環境整備に取り組み、施設・設備の保守管理をすること	6.4	5	19.2
(全)地域資源の活用や施設開放、地域行事の参加等、双方向での開かれた学校作りを進めること	6.4	5.2	17.92
(全)学年だよりや学部だより、学校だより等を発行し、学校の取組の情報発信を行うこと	6.4	5.4	16.64
(教)研究活動を通して学校が活性化すること	6	◆4.5	21
(教)学校教育目標と研究テーマが連動し、研究活動を行うこと	6.1	◆4.5	21.35
(教)必要な研修が計画され、教育実践に有効に反映されること	6.4	5	19.2
(全)センター機能の取組の活性化を図るために全教職員が趣旨を理解して取り組むこと	6.3	◆4.2	23.94
(全)関係機関と協働し、ネットワークを構築すること	6.5	◆4.8	20.8
(全)特別支援教育における専門的知識や技能を備え、校内外に有効な支援活動を行うこと	6.4	◆4.8	20.48
(全)学校経営計画に基づく予算が立案され、教育計画に沿った効果的、効率的な執行と適正な管理が行われること	6.5	5.2	18.2
(全)学校預り金の取り扱いについて、保護者への説明や適正な執行・管理が行われること	6.6	5.7	15.18

上記の項目の中では、育支援センターのセンター機能について、全教職員の理解に差異があることがわかりました。総合支援学校に求められる機能として、地域の障害のある子どもやその家族を支援するセンター的機能を有することがもとめられていますが、主に校外支援については、本校支援部が中心になってその業務を行っているため、他の教職員が趣旨を理解するという点について、課題があることが結果からわかりました。センター機能についてや、育支援センターでの取組等について、校内での研修を深めていく必要があることがわかりました。

4. 児童生徒アンケート結果について

児童生徒アンケートは、表のように高等部の自主通学生を中心に計40人の子どもたちが答えてくれました。

学部・学年	人数
小学部	4
中学部	4
高等部1年	4
高等部2年	15
高等部3年	13

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない・無回答
学校生活は楽しいですか	32	6			2
先生は親身になって相談にのってくれますか	29	6	1		4
あいさつは毎日していますか	30	5	1	1	3
遅刻や忘れ物をしていませんか	26	5	3	5	1
1日のスケジュールをわかって過ごしていますか	28	7	2	1	2
友達と仲良く過ごせていますか	32	3	3		2
まかされたことに責任を持ってやっていますか	30	5	1		4
学習内容はよくわかりますか	32	4			4
先生はわかりやすく教えてくれますか	28	5	2		5
授業中、わからないことを自分から進んで聞けていますか	30	4	3		3

以下、自由記欄からです。文章は、子ども達の原文をそのまま載せています。

・笑顔いっぱいの楽しい学校にしていきたいです。(小)
・かかわってくれない。いらっしゃるがおおい(中)
・ワークスタディにがんばります(高1)
・学習内容がよくわかります(高3)
・学校は、ライフスタディ(運動A)をして、グランドゴルフやTボールとワークスタディは、農園で、天地がえし(うねたて)や水くみ、水やりと食品は、クッキー作りや接客と下請、手作業などをやります。(高3)
・相手にも先生にも何を思われているのかわからないので逆に小わい。(高3)
・いつもべんきょうをおしえてくれてありがとうございます。またわからないことはいしえてください。わたしがなやんでたりないでいたりしたら先生になににがあったのかをはなします。私は、またあいさつがまだ自分でもあいさつができるでわかっています。けどともだちにはあいさつは、します。(高3)
・ぼくは学校大スキです。(高3)
・学校は、楽しいです。(高3)
・学校は、ライフスタディ(運動)Aでティーボールをやっています。らくしてメンテのそのうじがんばります。(高3)
・とても明るくて楽しいクラスです。(高3)
・学校生はなにのしごと しゅごくはたらきたいです (高3)
・学校では、友だちとしゃべったりして、楽しいです。あそんだりしたりして、楽しいです。楽しかんでは、図書館に行ったりして、楽しいです。(高3)